

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第334号 平成12年10月



『ルイーズ湖(カナダ)』 川崎健一郎

目

	頁
1) 旅行記	
第4回・ピー・メデチン・たま	
ー南イタリア・シシリア島旅行ー	
田中穂積 … 2	
上高地散策	森本 晋 … 5
2) レセプトQ&A	奥村 充 … 7
3) 文芸随筆諸事百般	
級友への手紙から	石井好明 … 8
短歌 残 暑	鹿野純 一 … 9
4) 地区だより	
福生地区	島井新一郎 … 10
5) 各部だより	
学術インフォメーション	学術部 … 11

次

	頁
西多摩医師会・地域ケアフォーラム2000	
学術部 … 13	
西多摩三師会公開講座のお知らせ	
広報部 … 13	
「室内楽ふれあいコンサート」	
へのお誘い	広報部 … 14
市民健康講座のお知らせ	広報部 … 16
6) 同好会短信	
写真展のご案内	写真部 … 17
7) 理事会報告	広報部 … 17
8) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 22
9) お知らせ	事務局 … 24
10) 表紙のことば	川崎健一郎 … 24
11) あとがき	高水松夫 … 25

旅行記

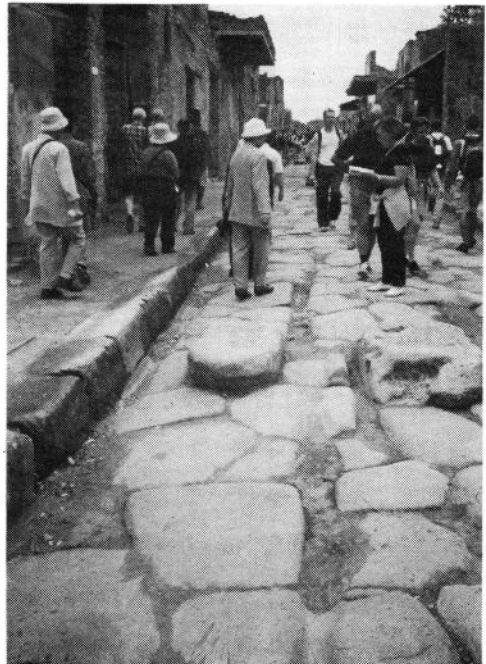
第4回ピー・メデチン・たま

— 南イタリア・シシリア島旅行 —

田中穂積

ピー・メデチン・たまとは、9年前に出来た、在日外国人に対する医療ボランティアグループである。普段は年1回の外国人の健康診断と月2回の医療相談をおこなって来た。5年前より、年1回位、外国に行って、その国の医療を見て来るもの良いのではと言う事になり、第一回は内蒙古、呼和浩特（フフホト）へ心電計を送りに、失敗!!。しかし、北京教育委員会よりは感謝される。第二回地中海クルージング、リトアニアの船医さんとの話し合い、船客が心筋梗塞であるかどうかの心電図の判定を任される。第三回、敦煌へ“西のかた陽関を出ずれば故人なからん”ただその広漠たる風景にみとれるのみ。そして今回、段々医療視察から単なる観光旅行に移行しそうである。

2000年9月9日、土曜日、午前中仕事、夜、パリに、すぐにナポリ（ギリシャ人の植民都市として、ネオ（new）ポリス（polis 都市）から市の名が由来している）へ。左手にヴェスーヴィオ火山を見ながら、その火山灰の下に埋もれてしまったポンペイへ。アーツ、しまった、円をリラに変えるのを忘れた、何にせヨーロッパはトイレに入るのに小銭が必要であった。現在100円が6リラ弱であった。トイレには500リラ、観光地では1000リラが必要である。普通ガイドさんが1万円を現地のお金にバスの中で変えてくれるのが普通と思っていたが、ガイドのジョバンニ、すぐ私の娘23才をくどきはじめる。64才なのに！ 前回イタリアに行った時の小銭を持って来たので、まず水を買う1500リラ。釣り銭にて一人。二人で1000リラに値切る。ポンペイ、広大な古代都市へのタイムスリップ、何とも言葉に言うには私のポキャブラリーは不足している。感動したのは、石畳の道路に馬車の轍の跡がくっきり残り、2000年前に埋もれたにもかかわらず、さらにその前に延々と歴史がある事に言葉に出せないものがありました。（写真1）

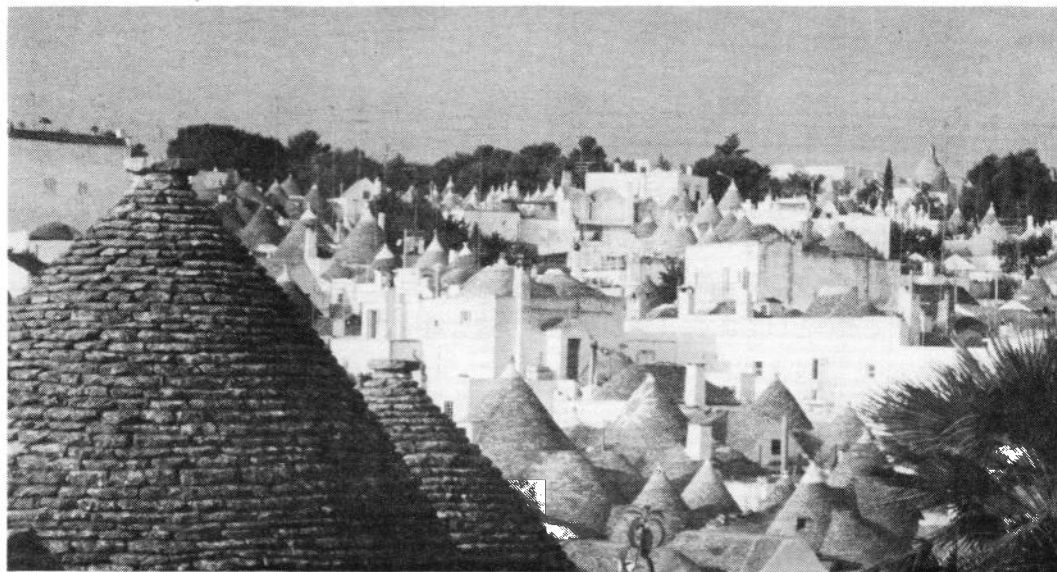


ナポリは古い街で見所いっぱいです。又、ピッツァパイの発祥地とされていますが？本当でしょうか？ 一番シンプルなマルゲリータがおいしかったですね。（日本はちょっと具が多すぎますかね?!）、当夜、爆睡！

12日、青い空とブルーの海を水中翼船にてカプリ島（ジョバンニはガヒイー、ガヒイーと言っていました）、そしてかの有名な青の洞窟入口はわずか1m、小舟（海で乗った昔のポート）に

移り我々は4名、米人は太っている為、3名乗り、先頭の乗客は、ネコロピ、ボートの舳先にはいつくばり、恐怖を感じながら中へ、一瞬別世界となる。海はさざ波、細かくゆらぎ、下より、マリンプルーの光をあてられ、ワーと声も出ず、しかし、1~2分で外へ。何とも言葉の出ない世界、筆にて描く事の出来ない世界であり、写真、ビデオでは出ない色でした。しかし、現実、外では、白い背肩の太ったマフィア風親分(?)が、船頭を仕切り、船頭は我々に、チップチップとせまって来ました。カプリ島上陸、金持ちの島、富豪の別荘、観光客にて、ごったがえしている島でした。

後日、会った日本の若者は2日間泊るも、波荒く、青の洞窟には入れなかったそうです。忙しい旅で、すぐナポリ、そして、反対のアドリア海へ向け、ひたすらバスにて、トウルツリと呼ばれる石の屋根と白壁の御伽の国のアルベロベッロへ、だれも聞いた事のない、見た事もない、しかし、世界遺産には登録されている、イタリア語で“すばらしい木”という意味の町へ。しかし、何とも、淋しい所で日は暮れるは、街の灯は見えてこないは、私、これをコースに入れて良かったのかと不安になる。どうにかホテルへ。遅い夕食を、その時、バスの運転手が、ここに日本人がいるのを知っているよと、ちょっと一言、とびつく！ 9時夕食後、暗い広場へ。そこで、陽子さんに、ライトアップされたトウルツリに案内してもらおう。現地の男性と結婚し、力強く生きている日本女性も美しかった。(写真2)



13日は、朝のトウルツリを、そして、秋芳洞よりダイナミックな、カステッラーナ・グロッテを見学、パリより飛行機にマフィアの島、シシリアへ。島一番の都市パレルモへ2日前までは大雨そして、雷がひどく大変であったとの事でした。白っぽい岩肌と青い空、しかし、木陰は涼しく、昼はシェスタ、昼寝をしようよとの考えが良く分かるピカピカの青空でした。空港の名はマフィアに暗殺された2名の判事の名前がついていました。

今のシシリアの失業率は30%だそうです。就職はかなりのコネが必要で、大学は医学部以外は入学総てOK、しかし卒業出来る人は10%位だそうです。医療に関しては、受け持ち医制で、この資格を取る事もちょっと難しいそうで、なれない人は勤務医になっているようです。その受け持

ち医への受診は無料で、分業制で、例えば骨折した時のレントゲン医への紹介は無料で、又、整形外科へと紹介、無料との事ですが、公立では無料、私立、個人医では有料で、かなりの金額をとられるそうです。又、救急病院に行っても日本以上に待たされる事もあるそうです。

そんな話をしながら、聖マリアンナの看護学部卒、カンボジアNGO参加、そこで知り合いシリアの彼と結婚、2才の男の子を持つ、力強く生きている山崎さんに案内してもらってます。

14日、シリア西部の町、アグリジェントへ、今日も、抜けるような青い空、乾いた空気、汗

は出ないが2000リラで買った水をまわし飲み、日陰はさわやか、ギリシャ人はここに来て、何故こんなに沢山の神殿を作ったのであろう。ジュピター神殿、ヘラクレス神殿、コンコルディア神殿、等々それだけ富と奴隷がいたという事なのでしょうか？

ポーとした頭の中に、映画の中の“ベンハー”のローマ宮殿が浮かんで来ました、ギリシャとはちがうのに。(写真3)



コンコルディア神殿

次の日、シラクーサへ、神殿、ギリシャ劇場と同じようなもので、写真でさだかでなくなる。

若い人達に有名な、ジャック・マイオールの映画、“グランブルー”で有名なホテル、カーポタオルミーナのある、タオルミーナへ行く、青い海と断崖と青い空の落ち着いた町である。

次の新婚旅行はここに来たらなと不謹慎な考えをもってしまう町、いや、金婚旅行の間違いです。新婚旅行はサントリニー島（ギリシャ）が良いですよ！

まだ時差ボケでポーとしてます、いつもだと子供達は言っています。

ネムイ、ネムイ、ここまでです。

筆を置きます。すみません。

PS：ウニのパスタはうまかったです。しかし、やはり高かったです。シリアン言わく

“ウニのうまさがわかるのはシリア人と日本人である”と、又、メカジキの炭火焼はあっさり味でうまかった、しょう油味と大根おろしで食べたかった味です。

上高地散策

森 本 晋

エベレストトレッキングにはおよびもつかないし、また行ったことのある方もさぞ多いと思うが、7月19日20日の連休を利用して上高地へ行って来た。当院は水曜日が休診のため連休となったのである。以前から一度行ってみたいと思っていた上高地帝国ホテルが運良くとれた。上高地はかつて神河内、神降地とも書かれ、明治以前は足を踏み入れる人もなかった山岳地帯であったが、ウェストンに紹介されて以来ようやく世に知られるようになった。さらに大正4年に北アルプス唯一の活火山である焼岳の噴火によって梓川がせき止められてできた大正池の景観も有名になり、交通の便が良くなるとともに年々観光客で賑わうようになり、今では通年自家用車の乗り入れは禁止となった。自家用車は上高地の手前の沢渡までで、そこからはシャトルバスがタクシーとなる。

私たちはスーパーあずさで松本に行き、松本から松本電鉄で新島々へ、そこからさらに1時間15分かけてバスで上高地にはいった。途中梓川の渓谷には3つのダムができ、さらに進むと1台のバスがやっと通れるような狭い釜トンネルに入った。交互通行のトンネルである。シーズン最盛期には渋滞で帰りは2~3時間はかかるので注意するようにとのアナウンスがあった。昔の秘境であるが、現代では便利になり軽装で旅ができることが果して良いことであるのかどうかと、そんなことを思いながら梓川をさかのぼっていくと、目の前に大正池が見えてきた。大正池の端は新しい堤でせき止められていた。この理由はあとでわかったのであるが、次の停留所が上高地帝国ホテルであった。上高地帝国ホテルは赤い屋根のロッジ風の建物で静かな林に囲まれ、山の緑、空の青と屋根の赤のコントラストがとても良かった。

チェックインするまでの間付近を散策するとすぐに、2~3m先の小枝にウグイスが胸をふくらませて全身をふるわせて一所懸命鳴いている姿に出くわした。思わずシャッターを切ったが豆粒ほどのウグイスしか写っていなかった。これに気を良くしてチェックイン後すぐにスニーカーに履き替え上高地の中心地である河童橋に向かった。ここからの展望は最高



ウグイス、見えますか？

で、梓川の上流正面には穂高連峰と明神岳が下流には焼岳が見え、天気の良いことに感謝した。河童橋を渡り木道を通ってウェストンの記念碑を見て大正池へと向かった。話には聞いていたが、大正池のほとりは周囲の山々から押し流された岩礫で覆われ池そのものが浅くなり、いずれ大正池は



田代湿原から穂高連峰をのぞむ

消滅する運命にあるそうだ。それを少しでも遅らせるために人工的に堰を設けているらしい。帰りの田代池と田代湿原から見た穂高はきれいだっただ。もしかしたら河童橋からの眺めより良いかもしれない。ホテル近くの自然研究路では10数匹の野生猿の群れに出会った。しばらく立ち止まって、群れが山の方へ移動して行くのを待った。ウグイスにももう1回至近距

離で会った。鳴き声があるので木の上ばかりを探していたら以外にも下の熊笹の間を縫うように渡って行った。時間が遅かったせいか自然研究路にも大正池にも人影はほとんどなく、岩魚もひっそりと泳いでいて自然を満喫できた感じがしてうれしかった。

翌日も快晴であった。部屋のテラスからは左に焼岳、右に穂高がくっきりと見えた。早々と朝食をすませ、河童橋から梓川に沿って上流の明神池に向かった。遊歩道は良く整備され歩きやすく、また高山植物は咲き乱れ、この日のために買ったクローズアップフィルターを付けてオオカメノキ、ミヤマウツボグサ、クガイソウ、オオウバユリなどを撮影したが、出来上がった写真を見るととても人に見せられるものではなかった。梓川はその源を槍ヶ岳に発する。梓川はどこまでさかのぼっても青く澄んでいて不思議な色をしていた。明神橋のたもとの明神館では、岩魚の塩焼きを食わしてくれるそうだ。寄り道したい気にもなったが先を急いだ。明神橋を渡ると穂高神社奥宮参道で拝観料200円を払って明神池へ入った。この穂高神社と明神池一帯がその昔、神の降りたる地「神降地」と言われたようだ。明神池は穂高神社の私有地のため人の手が入らず、静寂で神秘的であった。池には沢山の岩魚が群れていた。帰りの道は明神池から流れ出た水と沢からの水で至る所湿原となっていた。木々の切れ目から見える対岸の六百山の眺めがこれまた良かった。木道を通って2時間半の森林浴は終わった。

これだけ多くの観光客が押し寄せながらまだ自然が残っているのは、自家用車の乗り入れを禁止していること、旅館、ホテル以外には民家がないこと、11月中旬から4月下旬まで雪に閉ざされているためだろう。この2日間どこを歩いてもすべて絵になる所で感激しリフレッシュでき、又違った季節にも来てみたくなった。某先生は2泊3日で明神池よりさらに奥まで bird watching に来る予定とか。

レセプト Q & A

小作駅前クリニック 奥村 充

私は開業して2年です。まだまだわからないことだらけですが、レセプトに関する疑問点、問題点を思いつくまま書き出してみました。初歩的なことばかりだと思いますが、保険部の先生に教えていただけると幸いです。よろしく願い申し上げます。

【疑問点】

- (1) 慢性気管支炎の患者さんに、クラリシッド (200) 2T/2×14日×2回の処方をしたところ、クラリシッド (200) 2T/2×28→14に減点されました。支払基金に確認したところ、慢性気管支炎に対してクラリシッド (200) 2T/2×14日分×2回の処方はないので再審査請求するように指示されました。同様の問題が2度ありました。これは、慢性気管支炎に対するクラリス・クラリシッドの処方を認識していない審査の先生がいらっしゃるからでしょうか？
- (2) 抗生物質の点滴静注で、はじめて使う薬剤（セフェム系・ペニシリン系等の場合）を投与する前に薬剤の皮内反応をチェックしますが、この皮内反応を算定したところ、減点されました。この場合の皮内反応は、算定できないのでしょうか？
- (3) 今後、糖尿病の疑いでも HbA1c の検査を認めるようにするという話を聞きましたが、現時点では認められているのでしょうか。まだ認められていないようでしたら、いつから認められるのでしょうか。
- (4) 薬の副作用チェックのための血液検査を認めるという話を聞きましたが、どの程度の検査を認めるのでしょうか？末梢血一般と GOT・GPT・γ-GTP くらいならよいのでしょうか。もう少し詳しい検査、末梢血一般と GOT・GPT・γ-GTP・LDH・BUN・CR の場合はいかがでしょうか？また、“副作用チェックのための検査”とコメントを書く必要はあるのでしょうか？
- (5) 高コレステロール血症の患者さんで、11年7月26日初診、8月30日に3度目の再診、初診から1ヶ月経過しており、指導を行った上で、特定疾患療養指導料を算定したところ、指導料を減点されました。審査側の誤りではないかと思いますが、いかがなものでしょうか。
- (6) 当座口振込通知書・支払決定通知書に減点（減額）が記載されていますが、再審査で復活した金額は通知書に記載されるのでしょうか？
また、復活になった金額が支払われるまでにどれくらいの時間がかかるのでしょうか？

[支払基金・国保連へお願いしたいこと]

- (7) 再診査（保険者申し出分）の減点の通知が、診療月から1年以上たって届いたものもあります。もっと迅速な対応をお願いいたします。（せめて6ヶ月以内に）
- (8) インターフェロン治療を行っている患者さんのレセプトに記載もれがあるので、取り下げ願いを出すようにとの連絡があり、取り下げ願いを出したのですが、レセプトが戻ってきたのは取り下げ願いを出して、1年近くたってからでした。あまりにも遅すぎます。もっと迅速な対応をお願いいたします。
- (9) 現在の増減点通知書では減点の理由がわかりにくく（理由が書かれていないことが多い）減点理由を明確にしていただけたらと思います。減点理由がはっきりしていれば、私たちが誤って請求することも少なくなると思います。
- (10) 審査での減点の中には、明らかに審査側が誤っている場合も多々あると聞いています。明らかな審査側の誤りの場合の再審査請求は煩雑な手続きを必要としない、支払基金・国保連からの減点通知くらい簡単なメモ程度のものにさせていただけたらと思います。

文芸随筆諸事百般

級友への手紙から

石井好明

（前略）

この8月、西穂高から槍穂高連峰を眺め、50年前の貴兄との初めてのアルプスの山旅を思い出しましたので、久しぶりにお便りしたくなりました。当時、貴兄は地下足袋にゲートルに金剛杖、小生は古ズボンに古運動靴、持参したカロリー源は米と氷砂糖だったと思います。

入局したら忙しくて山どころではなくなるらしいから、と学生時代の山歩きの総仕上げとして燕槍穂高に行った筈でしたが、分院外科に入局したら山好きの先輩がいて、誘われて更にアルプスの奥に入り、スキーもやり、山熱は慢性化して現在に至っています。

（中略）

先日は、中高年の医者へのパーティに加わって、新穂高温泉からロープウェイで西穂山荘に泊り、西穂高岳を往復したのですが、西穂独標に登りついて、その先に続くギザギザの岩のルートを眺めた瞬間、よしあれを行こうという意気込みよりも、今の体力で大丈夫かな、登れるかなという弱気を感じました。

実は50年前、初めて見る残雪に飾られたアルプスの景観に酔いながら槍ヶ岳に登った翌朝の雨で、穂高への縦走をアッサリ諦め、槍沢を下って徳沢園に泊り、貴兄は上高地から西穂へ、小生は涸沢から奥穂へと別れた時、小生は奥穂の方が難コースであり、2度と来られないかも知れないの

だから、この際、奥穂に登っておこうと思ったのです。しかし、実際に行ってみると、奥穂小屋直下の急な雪渓の横断が少しコワかただけで、今度見た西穂の方が大変だったのではないかと思います。50年前の貴兄はどうだったでしょうか。

独標からは、仲間の後を追って、時には岩にかちりついたりしながらも、岩の間に咲く青い花や白い小さな花や黄色い花や、中腹の急な岩稜に立つカモシカの姿や這松の中の雷鳥の親子に慰められ、西穂の山頂では、岩の間からオコジョも姿を見せてくれ、弁当の冷凍もどしのおにぎりは全く味がなくて一つしか食べられなかったけれど、最高の山歩きでした。

槍は間もなく雲にかくれましたが、前にはジャンダルム・奥穂・前穂とつづく稜線、後には乗鞍、足もとには焼岳と上高地を見下ろし、42年前、雲の平から縦走してへばった笠ヶ岳も終始、左側の深い谷の向うに姿を見せていました。

岩のルートでは下りも緊張の連続で、西穂山荘からの下りには最近流行の2本杖を使用しましたが、ロープウェイの駅までが長くて長くて、クタビレました。

貴兄とは徳沢園に戻って一緒になり、徳本峠を越えて下山しましたが、前日登ったばかりだったからか、いいスケッチができなかったからか、有名な峠からの穂高の眺めが期待ほどではありませんでした。島々までの沢沿いの道は長いだけで何事もなかったけれど、後年、島々を通るバスの窓から徳本峠入口の道標を見るたびに、ここに出たんだと昔をパッと思い出して、なつかしさがこみ上げます。

(後略)



残 暑 鹿野純 一

虫さされ日焼け気にして家まわり
妻の草取り涼しい朝に

中元に高級菓子をおくられて
楽しみ一杯糖尿心配

好守備とバットの快音甲子園
涙と歓声夏は過ぎゆく

近所の庭の片隅千両の
赤い鈴生り網で守られ

紅白の花咲く墓地の岡の上
家族並んで記念撮影

三宅島子供は郷愁悩むらん
戦中動員苦しき思い出

昨年の医師国保の計報欄
七十代で六十人とは

地区だより**福生地区****隅田川納涼会**

去る8月26日、福生市医師会では会員ならびに休日診療所職員の親睦を深める目的で、隅田川の花火大会を屋形船にて観覧してまいりました。以前にも同様な企画を設けましたが、あいにくの雨にたたられ中止となったいきさつがあり、4年越しの実現となったわけです。当日は天候にも恵まれ、40数名の参加を得て、午後1時30分に福生市健康センター前からチャーターバスにて、現地に向かいましたが、途中交通渋滞に巻き込まれ、船に乗り込めたのは午後5時を過ぎてしまいました。バスに乗車後、早々、宴たけなわとなり、花火開始時にはすでに夢に浸り、花火はまったく御覧にならなかったという参加者もおられたようです。普段は忙しさのあまり、会員間の交流をもてないだけに有意義な催しでありました。企画から屋形船の手配まで、林地区長には大変お世話になりました。

(文責：島井)



各部だより



学術部

Information



◀ 10月 ▶

西多摩医師会学術講演会のご案内

① 日 時：平成12年10月13日（金）

場 所：西多摩医師会館

演 題：『過敏性腸症候群－最近の治療－』

日比谷国際クリニック 院長 三 木 治 先生

共催：北陸製薬（株）

② 日 時：平成12年10月20日（金）

場 所：西多摩医師会館

演 題：『頭痛をどう診ていけばよいか』

青梅市立総合病院脳神経外科 部長 宮 崎 崇 先生

共催：グラクソ・ウェルカム（株）

〈学術講演会聴講メモ〉

平成12年9月6日（水）

演題：「アルツハイマー病の診断と治療」

講師：東京医科大学 老年病科 岩 本 俊 彦 先生

1. はじめに

昨年からはアルツハイマー病治療薬としてアセチルコリン分解酵素阻害薬、塩酸ドネペジルが臨床の場に登場し、アルツハイマー病治療に大きな変革をもたらされた。したがって、その診断は、医療面のみならず、社会的にもより重要性を増すこととなった。

2. 診断

アルツハイマー病は「物忘れ」を主訴とする疾患の過半数を占め、症状が潜行性、進行性

にみられるのが特徴である。この診断の第一歩は痴呆の存在診断で、スクリーニングには長谷川式スケール (HDS) やミニメンタル (MMSE) などの簡易知能診査スケールが用いられる。多忙な日常診療の中では「曜日を問う」(日時の見当識障害) のも一法である。次いで、アルツハイマー病の鑑別診断は、問診、神経心理学的評価で可能な場合が多く、一般には DSM-IV の診断基準に基づく。このうち記憶障害は痴呆の存在を示し、実際には昨日のことや直前まで何をしていたかを思い出せないなどの「エピソード記憶の障害」が初めにみられる。しばしば作話でごまかされるため、確認が必要である。また、物の名前が出てこないなどの失語 (語健忘) もみられ、ニアミスも多い。さらに進めば、服がうまく着れないこと (着衣失行) や家族が正しくわからないこと (相貌失認) で確かめられる。これらのために今まで出来ていた仕事や食事 (食事の準備、例えば、献立、買い物、料理や家計のやりくり)、ADL (入浴、例えば、着替えの準備、湯温調整、洗髪など) や外出 (季節にあった衣服の選定、適切な交通手段) が正しく遂行されずに何らかの手助けを必要とすることで判断される。不適応のために様々な周辺症状 (精神症状や問題行動) が出没することもある。

3. 治療

アルツハイマー病の治療戦略としては非薬物的アプローチと薬物療法があり、症状や病期に合わせた治療を行なう。

1) 非薬物的アプローチ

この治療には患者の痴呆の程度ばかりでなく、周辺症状、ADL、生活環境 (介護者、家族構成)、生活様式 (日課、趣味・趣向)、介護者への負担の度合を把握することが不可欠である。これらの情報に基づいて総合評価・分析を行ない、非薬物的アプローチ (例えば、適度の運動習慣、失敗ゼロへの工夫、失敗後のフォロー、日課の単純化、道具の簡便化、家族・介護者への指導と支援) に還元する。

2) 薬物療法

アルツハイマー病患者に対する薬物療法には、中核症状に対する抗痴呆薬 (塩酸ドネペジル)、周辺症状に対する抗精神病薬、抗うつ薬が用いられる。

4. おわりに

アルツハイマー病の臨床診断は、知的機能の評価と患者の日常生活に及ぶ、きめ細かな観察によって十分に可能である。治療の基本は総合評価に基づいた非薬物的アプローチであるが、時期を逸せず塩酸ドネペジルを用いることが重要と思われる。

付) 痴呆の有無の一弁別法：時計盤に「4時20分前を」を描かせる。

(文：岩本俊彦)

西多摩医師会・地域ケアフォーラム2000

—— 西多摩の保健・福祉・医療・介護を支える皆さんとともに ——

日 時 : 平成12年11月11日(土) 午後2時~5時

場 所 : 羽村市コミュニティセンター

羽村市緑ヶ丘5-2-6 TEL 042 (554) 8584

第一部 学術講演会 (日本医師会生涯教育講座・エーザイ株式会社共催)

演題: 「介護保険におけるかかりつけ医の役割」

~特に痴呆の診断、治療、介護を中心にして~

講師: 東京都老人総合研究所

精神医学部門 研究部長 本間 昭 先生

第二部 介護保険シンポジウム その2

「介護保険施行後6ヶ月の経験と問題点」

司会 西多摩医師会副会長 玉木一弘

【発言者】

自治体から	羽村市介護保険課	課 長	羽村富男
介護老人保健施設から	青梅すえひろ苑	施設長	岩尾芳郎
開業医から	酒井医院	院 長	酒井 淳
訪問看護ステーションから	梅園訪問看護ステーション	室 長	窪川真佐美
ヘルパーステーションから	アシスト		塩野勝巳

広 報 部

第8回 西多摩三師会公開講座のお知らせ

日 時 : 11月12日(日) 14時~16時

会 場 : 羽村市コミュニティセンター 3階ホール

テーマ : こどもたちの心とからだ

講 師 : 細谷 勇太郎 先生 (あきる野市ころりん村園長)

小野 三嗣 先生 (東京学芸大学名誉教授)

入場無料

「室内楽ふれあいコンサート」へのお誘い

この度、西多摩医師会主催で下記の如く「室内楽ふれあいコンサート」を企画いたしました。これは、医師会が一般市民を対象に、社会福祉活動の一環として行うものです。

特に、会員の先生方には日常診療のお疲れを、超一流の演奏者の音楽で癒していただければ幸いに思います。是非とも、ご家族・従業員の方々をお誘いの上、秋の夜をやさしい音色

社団法人 西多摩医師会主催

『室内楽ふれあいコンサート』

— 心の耳に感動を —

日 時 平成12年10月26日(木) 午後6時00分開場
午後6時30分開演

会 場 福生市民会館大ホール
福生市福生 2455 Tel 042-552-1711

入 場 料 無 料

演 奏 者 ハンス・ピツカ氏(ホルン) …ドイツの代表的奏者
近藤 良氏(クラリネット)
白沢 暁子氏(ピアノ)

プログラム(予定)

ホルンとピアノの為の叙情的小品

J. S. バッハ作曲「主よ人の望みの喜びよ」

C. ライネッケ作曲 三重奏曲 変ロ長調 Op. 274

申込方法 往復葉書に住所・氏名・電話番号・参加人数を記入し、
返信用に申込者の住所氏名を必ずご記入の上、下記へ
お申し込み下さい。

〒198-0044 青梅市西分町 3-103

西多摩医師会「コンサート」係

インターネットでもお申し込みできます。

E-mailアドレス ishikai@hkr.ne.jp

でお楽しみ下さい。

尚、先生方のお申し込みは、電話・FAXでも受け付けておりますので、西多摩医師会事務局 (TEL. 0428-23-2171、FAX. 0428-24-1615) までご連絡下さい。

〈演奏者プロフィール〉



ハンス・ピツカ (Hans PIZKA) 氏 (ホルン)

1942年、オーストリアのホルン教授の息子として生まれる。

1963年、ウィーン国立音楽大学卒業後、数々のオーケストラで活躍、現在に至るまで30年以上バイエルン国立歌劇場管弦楽団の首席奏者を務め、カラヤン、バーム等、歴代の偉大な指揮者と共演する。

現在、ドイツの代表的ホルン奏者で、ソリスト、研究者、国際ホルン協会評議員として国際的に活躍している。



近藤 良氏 (クラリネット)

大阪芸術大学卒業後、ドイツ、ケルン国立音楽大学に留学、クラリネットをH. D. クラウス氏に、室内楽をアマデウス四重奏団に師事。

1983年、ケルンにてアマデウス四重奏団のチェリストであるマーティン・ロヴェット氏の共演を得てデビュー、以後、室内楽奏者として国内外で演奏活動を行っている。



白沢暁子氏 (ピアノ)

東京芸術大学卒業後、同大学院修士課程終了。

ドイツ、シュトゥットガルト国立音楽大学芸術家養成課程卒業。

ピアノを、安川加寿子、多美智子、高良芳枝、リディア・コズベック、ゲルト・ローマイアーの各氏に、また、室内楽を近藤良氏に師事。

現在、洗足学園大学において後進の指導にあたるかたわら、国内外の優れた音楽家達との共演等、ソリスト、室内楽奏者として演奏活動を行っている。



後 援 青梅市・福生市・あきる野市・羽村市・瑞穂町・日の出町
奥多摩町・檜原村
同市町村社会福祉協議会・多摩川保健所・秋川保健所

西多摩医師会主催

市民健康講座

TBSラジオ「大沢悠里のゆうゆうワイド」でおなじみのフリーアナウンサー大沢悠里氏を講師にお招きし、市民健康講座講演会を開催致します。貴施設のスタッフの方々、ご家族の方々にもご案内いただき、皆様お誘いあわせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

題名：「明るく元気にイキイキと」

講師：大沢悠里氏

日時：平成12年11月18日(土)

PM 2:00 ~ 3:30

会場：羽村市コミュニティセンター

3階ホール (羽村市役所隣)

受講料：無料

事務局：西多摩医師会 TEL 0428-23-2171

***大沢悠里氏経歴**

1964年、早稲田大学法学部卒業、TBS東京放送入社、入社後5年間、報道番組を担当、その後、主にラジオをメインに歌謡番組を担当する。1993年、アナウンス部長を最後に独立、現在、フリーアナウンサーとして活躍中。

現在放送中の番組：『大沢悠里のゆうゆうワイド』（TBSラジオ、月～金、朝8時半～1時）

***尚、出席される施設は、予め、参加希望人数を西多摩医師会事務局まで電話にてお知らせ頂ければ幸いです（TEL 0428-23-2171）。**

同好会短信

写真部写真展のご案内

来る11月7日(火)より11月12日(日)まで羽村市コミュニティセンターにて第26回西多摩医師会写真部写真展を開催いたします。

旅行先でのスナップ・ポートレート・花・風景・鳥・昆虫などジャンルは、問いません。

写真展終了後、12日午後7時より、写真家 桜井 保秋先生をお招きし、親睦批評会を「かつら」にて開催する予定です。

奮ってご参加下さい。

出展参加希望の先生は、11月1日までに 細谷までご連絡下さい。

(文：田村啓彦)



● 理事会報告

★ Information ●

9月定例理事会

平成12年9月12日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

1. 都医地区医師会長協議会報告

I. 都医からの伝達事項

(1) 東京都衛生局改革アクションプラン(第二次)の策定について

この基本目標は都民の生命と健康に関する365日24時間の安全安心を目指すとして、特に都立病院の改革を積極的に推進する。(別掲資料)

(2) 日本医師会「医の倫理綱領(付録 医の倫理綱領注釈)」冊子の送付について

医の倫理綱領冊子は非会員へも配布し、実行して頂きたい。

(3) 東京都医師会介護保険請求事務講習会について

9月19日開催する。事務担当者は出席するように。

(4) 主治医意見書資料及び居宅療養管理指導内容について

要介護認定審査上、意見書は重要なので、この資料を参考にするように。

(5) 介護保険に係る保険医療機関の「みなし指定」の適用について

廃止する事業所は届出る必要がある。

(6) 秋のポリオ集団予防接種の円滑な実施について

ーポリオの予防接種の啓発資料の送付ー

ポリオワクチン(ロット39)は安全であることが確認された。

よろしく秋の予防接種の実施を円滑に行ってもらいたい。

衛生局改革アクション

—365日24時間の安全

第1 衛生局改革の基本的方向

- 1 改革の基本目標 …… 都民の生命と健康に関する 365 日 24 時間の安全・安心を目指す
- 2 改革の戦略と視点 …… 3つの戦略と7つの視点
 - (1) 社会経済状況の変化にふさわしい改革 → 《視点1》本格的な少子・高齢社会に対応した施策展開、
 - (2) 地方分権の時代にふさわしい改革 → 《視点4》地方分権の動向を踏まえた施策展開
 - (3) 低成長時代にふさわしい改革 → 《視点5》全般的な事務事業の見直し、《視点6》効率的な
- 3 プランの性格と計画期間 …… 衛生局の中長期的な改革への道すじと具体的な取組を示した行動指針。平成 15 年

第2 衛生局改革への取組

1 施策

アクション1 東京発の医療改革

(改革の考え方)

医療の3つの不足(透明性、信頼性、効率性)を克服し、「開かれた医療」「安心できる医療」「無駄のない医療」を方針として、「365日24時間の安心」、「患者中心の医療」の実現を目指す。

(具体的取組)

- (1) 「365日24時間の安心」の医療提供(初期救急医療の充実、小児救急医療の充実、都立病院における東京ERの計画的整備など)
- (2) 「患者中心の医療」の実現(診療情報開示の推進、医療機関情報システムの整備、「患者の声」相談窓口の設置など)
- (3) 保健医療従事者の教育改革(都立保健科学大学大学院の設置、都立看護専門学校の新編と大学教育への一部移行など)
- (4) 国への働きかけ(医療機関の広告規制の緩和など)

アクション2 多様化する

(改革の考え方)

有害化学物質や未知の感染症など、新たな健康危機へ対応する。また、について、変化する社会状況に適応す
健康被害を未然に防止する。

(具体的取組)

- (1) 新たな健康危機への対応(環境リスク対策の充実、新たな感染症)
- (2) 食品・医薬品等の安全確保(H遺伝子組換え食品等の監視体制の強化)

2 都立病院の改革

(改革の考え方)

「東京発の医療改革」の核として、都立病院改革を積極的に推進する。

(具体的取組)

- (1) 乳幼児から高齢者までを支える 365 日 24 時間の総合的な医療の提供(東京ERの計画的整備、小児救急医療の充実、臨床研修医制度の拡充、老人医療センターを含めた再編整備)
- (2) 医療従事者の意識改革の推進(患者の権利章典の制定、医療事故防止対策の強化)
- (3) 自主的な経営の確立(経営形態等、財政ルールの確立など)
- (4) 都立病院改革会議の設置(医療機能、再編整備などの検討)

3 都民サー

(改革の考え方)

都民の立場に立ったサービスを提
策を実施することにより、職員一人

(具体的取組)

- (1) PR・広報の充実(「健康情報
- (2) 都民対応の充実(都保健所の毎
病院の患者サービスの向上など)
- (3) コストダウン・業務運営改善
- (4) 衛生局IT検討会の取組(都立
健康危機発生時のインターネットの活用な
- (5) 職員の意識改革への取組(サビ

- 「1 施策の再構築」の一環として、効率的な執行体制の整備を図る。(市場衛生検査所の再編整備、

第3 衛生局改革の推進

- 本プランは、今後、都民の理解を得ながら、関係機関・関係部門と調整し、着実に推進する。
- 本プランは、衛生行政改革委員会で進行管理し、中長期的な取組については、次期改定の東京都保健

ヨンプラン(第二次)

・安心を目指してー

平成12年8月11日
衛生局

《視点2》国際化、情報化等の進展に対応した施策展開、《視点3》都民の立場に立ったサービス提供

執行体制の確保、《視点7》監理団体の総点検
度を目途に年次計画を示すとともに、16年度以降についてもできる限り明確化。

の再構築

健康危機への機敏な対応

健康に被害を及ぼすおそれのある食品・医薬品等の安全確保対策
べく監視指導方法を見直し、健

病等有害化学物質対策の充実、
対策、動物保護管理の充実)
ACCPの導入推進、輸入食品や
整備、医薬品等の事後監視体制

アクション3 地域主体の保健医療施策の展開

(改革の考え方)

地方分権の推進等により、身近な保健福祉サービスは区市町村を中心
に展開され、また、地域医療のシステム化など二次保健医療圏を中心とし
た保健医療施策が展開されている。今後の保健・医療・福祉の総合化
と地域保健の一層の充実へ向け、都と区市町村の適切な役割分担に基
づく事務の見直しを行う。

(具体的取組)

- (1) 区市町村及び二次保健医療圏等を中心とした地域システムの整備
- (2) 予防重視の施策展開(生活習慣病予防、リハビリテーションなど)
- (3) 地域保健の再構築と都保健所の再編整備(保健所政令市の指定
へ向けた働きかけ、市町村への事務移譲など)

ビスの向上

供するため、業務運営方法の改善
ひとりの意識改革を進める。

館」の開設、ホームページなど)
月第一土曜日の一斉開庁、都立

病院への電子カルテシステムの導入、健
ど)
士精神、コスト意識、リカ管理)

4 監理団体の総点検

(改革の考え方)

「東京都監理団体総点検のための基本指針」をもとに、団体自らが
強い改革意識をもって経営改善に取り組み、衛生局はこれを支援す
る。

(具体的取組)

- (1) 東京都健康推進財団の改革(健康づくり事業の抜本的な見直し、
がん検診センターの再編整備、法人組織の在り方)
- (2) 東京都医学研究機構の改革(研究力の向上、外部資金等の拡大、
運営体制の見直し、研究成果の普及・還元策の充実)
- (3) 東京都保健医療公社の改革(経営努力が反映する補助方式の導
入、公社経営改善計画に基づく財政基盤の確立)

動物保護相談センターの再編整備、薬事衛生事務所の再編整備など)

医療計画に反映していく。

- (7) 平成11年度老人保健事業実績集計表について
市町村別の実績集計表を参考にされたし。
- (8) 三宅村避難住民に対する乳幼児健康診査等の取扱いについて
三宅村避難住民に対する、診療・健康診査・予防接種等については積極的に支援するよう協力して下さい。
- (9) 集団給食施設届出制に伴う条例化について
- (10) 三宅島・新島・神津島近海地震等に係る義援金について
A 会員500円の義援金を御願います。
- (11) 平成12年度政府管掌健康保険被保険者等の指導の実施について
10月12日請求分について、被保険者あてに通知する。
受診年月、受診者名、入院、通院の日数及び医療費の額等。

II. 協議事項

なし。

III. 地区医師会からの報告

- (1) 「小児科平日夜間診療」の開始について（荏原医師会）
- (2) 東京都の ER 計画に対する件について（稲城市医師会）

IV. その他

- (1) 介護保険ニュースについて
- (2) 会館特別会計の借入金に関する利率変更について

2. 西多摩医師会産業医研修会収支報告

青梅市立総合病院講堂で開催された。

3. 各部報告

- (学 術 部) 11月11日(土) 介護保険シンポ(羽村コミセン)
11月15日(水) 三公立病院定例講演会(青梅市立総合病院講堂)
11月18日(土) 市民健康講座(羽村コミセン)
11月25日(土) 多摩医学会(フォレストイン昭和館)

(学 校 医) 11月9日又は16日、西多摩保健連絡協議会(秋川公民館)

1. 心臓病 2. 思春期の不定愁訴 3. 多動児

4. 各地区会よりの報告 (各地区長)

- (青 梅) 生活習慣病の補助について検討。
 (福 生) 8月26日(土) 隅田川花火大会を屋形船で観覧。
 (羽 村) 7月29日(土) 東京湾サンセットクルーズ
 9月19日(火) 地区祝い 滝浦先生(喜寿) 三枝先生(古希)
 松原先生(古希) 真鍋先生(還暦)

- (あきる野) なし。
 (瑞 穂) なし。
 (日の出) 患者さんの転送の際、家族への病状説明が、くい違っていたことが問題となった。

5. その他

西多摩健康フォーラム開催(10月15日(日) 奥多摩町福祉会館)

三宅島(秋川高校入所)対応の件

9月に三宅村の生徒の8~9割が一時的に秋川高校へ転校。村民の避難先として都内に386戸、789名、八王子に597名、西多摩地区は転居者なし。多摩ニュータウンが最大の避難先となった。

西多摩三師会講演会

11月12日(日) 羽村コミセン 14:00~16:00

講師 小野先生(慈恵医大) スポーツ医学について

【2】 報告承認事項

1. 入会会員について

なし。

2. 西多摩地域保健医療計画推進協議会委員の推薦について —— 承認 ——

【同上協議会委員】 宮川栄次 先生・小机敏昭 先生・唐橋善雄 先生

【同上協議会の部会】

健康づくり生活部会—小机敏昭 先生

保健サービス部会—宮川栄次 先生・星野 誠 先生

障害保健福祉部会—唐橋善雄 先生・森本 晋 先生

地域医療システム化推進部会—宮川栄次 先生・玉木一弘 先生・石田信彦 先生

(任期 平成12年9月21日より2年間)

3. 新規会員年会費査定について

—— 承認 ——

【3】 協議事項

1. 平成12年度東京都医療機能連携推進事業の委託契約締結について — 承認 —
2. 産婦人科医年会費（基準会費1ランク上）の廃止について — 承認 —
3. 介護保険シンポジウム開催の件 — 承認 —
 平成12年11月11日（土）
 第一部 学術講演会（西多摩医師会・エーザイ（株）共催）
 第二部 介護保険シンポジウム（西多摩医師会主催）
4. 室内楽ふれあいコンサート募集状況について — 承認 —
 現在申込みは309名、会場は1200名であり、今後、医師会会員の宣伝と参加をお願いします。
5. 多摩地区医師会懇親会催物等について — 承認 —
 講演会とアトラクションを企画。
6. その他
 NHKから西多摩医師会の各医療機関に対し、テレビ受信料の契約化に向けた協力のお願いがあった。

会 員 通 知

- 城北ブロック産業医研修会
- ポスター（**障**受給者証、**乳**医療証をお持ちの方へ）
- 学術講演会
- 多摩医学会講演会演題募集
- 産業医研修会（日本産業衛生学会、日黒医師会、日本橋医師会労働衛生コンサルタント研修会）
- お願い（三宅島小、中、高生 秋川高校移転の件）
- 学術講演会
- 会報
- 医の倫理綱領
- **障**制度が9月から変わります
- 東京都医師会介護保険請求事務講習会の開催について
- 国家公務員共催組合員証等の更新並に有効期限の延長及び検認について
- 「出生・死亡・死産・婚姻離婚の届出をされる方にお願ひ」（職業、産業例示表）の配布方についてお願ひ
- 順天堂大学医師会産業医研修会、健康スポーツ医研究会案内
- ポスター（国勢調査）

医 師 会 の 動 き

医療機関数 197 病院 29
 医院・診療所 168

会 員 数 429 A会員 187
 B会員 242

会議

9月5日 在宅難病訪問診療
 7日 〃
 12日 理事会
 〃 在宅難病訪問診療
 19日 会報委員会
 26日 理事会
 28日 在宅難病訪問診療

講習会・その他

9月4日 学術講演会
 講師：順天堂大学医学部内科学
 代謝内分泌学講座講師
 田中 逸先生
 演題：糖尿病性神経障害の診断
 と治療について

9月6日 学術講演会
 講師：東京医科大学助教授
 老年病学教室
 岩本俊彦先生
 演題：アルツハイマー型痴呆の
 診断と治療

8日 整備会
 13日 法律相談
 20日 学術講演会
 講師：福生病院院長
 中谷矩章先生
 演題：浮腫の病態と治療

27日 学術講演会

講師：杏林大学保健学部
 精神保健学講座教授
 杏林大学医学部
 精神神経科兼任教授
 田島 治先生

演題：パニックディスオーダーの
 診断と治療の最近の進歩

役員出張

9月8日 都医会長会
 13日 生保指導立会
 14日 基準監督署建設業協会安全衛生
 会議
 26日 VDT作業講演会

【廃業】

医院名 星野医院
 氏名 星野 稔

【名称変更】

(新) 医療法人社団 高村内科クリニック
 (旧) 高村内科クリニック



お知らせ

事務局より お知らせ

平成 12 年 11 月 (10 月診療分) の

保険請求書類提出

11 月 8 日 (水)

—— 正午迄です ——

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第二水曜日午後二時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談ください。

- ◎相談日 10月は11日(水)
11月は8日(水)の予定です。
- ◎場 所 西多摩医師会館和室
- ◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙のことば

『ルイーズ湖(カナダ)』

早朝のレイク・ルイーズは未だ眠りから醒めていなかった。

湖面は波一つなく文字どおり鏡の如く平らで静まり返っていて、山や雲がそれ
自体より、もっと鮮明に美しく湖面に映えていた。

川崎健一郎

あ と が き

8月15日諏訪湖花火大会を見物に行きました。今年で5年連続になります。10月に花火の話題もおかしいとは思いますが、約2時間の間に打ち上げられる30000発の花火の迫力は他の花火大会では経験したことがありません。興味があれば一度見物に行ってください。

ただし小さな場所に45万人もの見物客が集まるのですから、混雑とトイレに15～30分並ぶのは覚悟して下さい。

高水松夫

社団法人 西多摩医師会

平成12年10月1日発行

会長 宮川栄次 〒198-0044 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 森本 晋

石井好明 神尾重則 片平潤一 込田茂夫

清水佐和道 高水松夫 田村啓彦 細谷純一郎

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993



一般医薬品
医療機器卸

酒井薬品株式会社

福生営業所 〒197-0013 東京都福生市武蔵野台2-34-4

TEL (042) 553-3211 (代)

本社 〒181-8551 東京都三鷹市野崎1-11-22

TEL (0422) 47-2131 (代)

営業所 小平・八王子・町田・川越・相模原・伊勢原

健康の輝きをひろげる。



BML

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社・〒166 東京都杉並区高円寺南1-34-5 TEL.03-3316-0111(大代番)
総合研究所・〒350 埼玉県川越市約町1361-1 TEL.0492-32-0111(代)

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア

保健科学研究所

本 社 〒240 横浜市長土ヶ谷区神戸町108 TEL/045-333-1661(大代番)
仙 台 支 社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代番)